校訓 誠實 克己 創造

Grand design

意欲的に学ぶ「自立した学習者」

Active Autonomous Learner

<u>何ができるようになるか</u>

- ・進取の精神と深い考察の会得
- ・学習活動と部活動・特別活動との両立
- ・端正な服装と丁寧な言葉遣いの実践



何を学ぶか



どのように学ぶか

- ・ 主 体 的 に 判 断 し 課 題 を 解 決 す る プ ロ セ ス
- |・ 多 様 な 考 え 方 を 受 け 入 れ 協 働 的 に 学 ぶ 姿 勢
- |・努力を継続して取り組むことでの成功体験
- ・PDCAサイクルを意識する日常
- ・ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの推進
- ・主体的に授業 + αの学習を実践

すべての生徒が「学ぶ」喜びを実感し自己実現を果たす学び舎」



2年 破 3年 離 自己管理·PDCAサイクルの確立 主体的·対話的な 「学び」の深化 主体的探究力の完成・進路実現 令和7年度 重点目標



- ①生徒の進路希望に応じた学力向上の推進
 - 1 習熟度別授業と個に応じた指導を柔軟かつ多様に導入
 - 2 互見授業を通し思考判断表現力を育成する授業改善
 - 3 進路希望に応じた適切な課題と深い内容を取り入れる
- ②入りたい大学への積極的な挑戦
 - 1 個別面談を充実させ学びに向かう力の涵養
 - 2 明確な目的を持った進路行事で適切な勤労観と職業観を育成
 - 3 一人ひとりの進路に複数教員がサポートする協力体制構築
 - 4 体験的進路行事推進と習熟度別講座などで効果的な指導
- ③「豊かな心」の育成
 - 1 環境教育やボランティア活動を推進し他者への思いやりを育む
 - 2 相手の立場になって考え行動できる共感力と人間性を育む
 - 3 国際理解教育を推進しグローカル人材育成
 - 4 コンプライアンス遵守、体罰暴言によらない指導実践
 - 5 特別な配慮を要する生徒への共通理解を図る

- ④学習活動と部活動・特別活動の両立
 - 1 部活動の活性化で、挑戦する力・レジリエンス・自己肯定感を育む
 - 2 特別活動の充実とキャリアパスポート活用により規律・協同性を養う
- ⑤健康と安全への配慮
 - 1 健康教育推進と環境整備により健康の維持・増進を図る
 - 2 生徒への寄り添い重視、生徒相談充実とカウンセラー連携
 - 3 学校行事の効果的配置により教育活動有効化の追及
- ⑥情報公開の積極化
 - 1 学校評議員とPTA同窓会連携強化で広報と学校情報公開に努める
 - 2 学校説明会(夏・秋)の充実と中学校・塾への訪問の積極的実施
 - 3 ホームページ更新頻度を高め広報体制を充実させる
 - 4 学年だより・学級通信・進路情報・保健だより等で情報提供
- ⑦ 今 後 の ビ ジョ ン の 具 体 化 と 、 ビ ジョ ン に 沿 っ た 教 育 活 動 の 展 開
 - 1 本校の将来像を見据え、グローカルな教育活動を展開する。
 - 2地域の中の学校として、新しい普通科の在り方について検討。